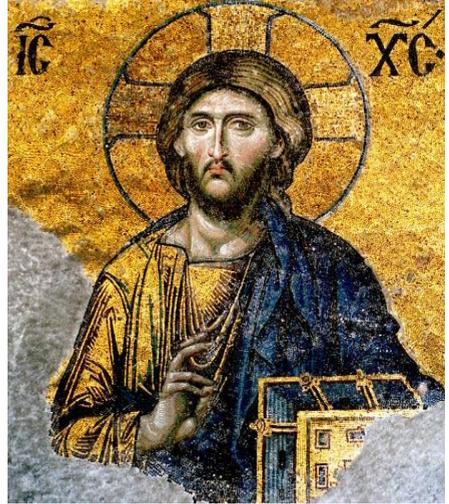


キリスト

知っておきたいキリスト教のことは (59)

「イエス・キリスト」というと、多くの人は山田花子や鈴木一郎のように、苗字と名前だと思ってしまう。しかし「イエス」というのは名前ですが、「キリスト」は苗字ではありません。

キリストは、ヘブライ語のメシアをギリシア語に翻訳した言葉です。イスラエルでは祭司や王に任命するときに、その人の頭に油を注いでいました。その「油注がれた者」を指す言葉がメシアです。例えば旧約聖書の祭司アロンやダビデ王なども、油を注がれることによって、聖別されていきました。



イスラエルではバビロン捕囚（紀元前 586～538 年）を経て、メシア待望が沸き起こります。神さまが世を救うために救世主を遣わされるという希望を、イスラエルの人々は持っていくのです。

新約の時代になって、このメシアとイエス様とを結びつける信仰が生まれます。新約聖書の中で「イエス・キリスト」と書いてある箇所がありますが、これは「イエス様こそ救い主である」という信仰告白でもあるのです。

ちなみに新共同訳聖書で「メシア」という語が出て来ますが、その多くの箇所の原語（ギリシア語）は「キリスト」です。例えばペトロの信仰告白の場面にこうあります。

そこでイエスがお尋ねになった。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」（マルコ 8:29）

このメシアもギリシア語本文ではキリストとなっています。ですからペトロはイエス様にこう言ったことになります。「あなたは、キリストです。」

わたしたちも「イエス・キリスト」と言うときには、イエス様こそわたしたちの救い主、キリストですという気持ちで言うようにしましょう。

今回は「悔い改め」です。お楽しみに。